

Ex3 総合土砂管理コース（予定定員：16名）

申し込み状況により中止する場合がありますのであらかじめご了承ください。

1. 視察コースの概要

黒部川は、上流荒廃地からの土砂流出が著しく、流出した土砂により扇状地が発達しています。山地部の縦断勾配は約 1/5～1/80、扇状地部は約 1/100 と我が国屈指の急流河川です。

そのような流域特性をもつ黒部川上流域での砂防事業（黒薙川流域）や黒部川のダム、及び海岸域までを含めた総合土砂管理について現地視察を行います。

2. 視察箇所

(1) 主な視察箇所

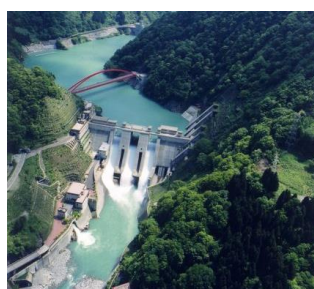
- ・砂防事業（黒薙川流域：黒薙川第2号下流砂防堰堤工事箇所）・・・土砂生産が激しい流域での砂防工事です。地形が急峻で運搬路が無いとため、資材の運搬は黒部溪谷鉄道又はへりに限定された厳しい施工条件のもと工事が行われています。また、黒薙川流域内に専用のコンクリートプラントを設け工事を実施しています。
- ・宇奈月ダム・・・排砂設備を有する多目的ダムです。流出土砂が非常に多い黒部川においてはダム機能の維持、下流河川の河床低下防止、海岸侵食の進行抑制の3つを目的として上流の出し平ダム（関西電力(株)所有）との連携排砂を実施しています。
- ・河川事業（急流河川対策：入善町福島地先）・・・急流河川にみられる不連続な堤防（霞堤）によって、昭和44（1969）年8月洪水の破堤による氾濫流は、霞堤の開口部から河道に戻り氾濫防御等の治水効果を発揮しました。
- ・海岸事業（海岸侵食対策：黒部市荒俣地先）・・・連携排砂により黒部川河口では砂浜の回復が見られ、効果が確認できます

(2) その他（地域・文化交流の箇所）

- ・生地清水まちあるき・・・黒部川扇状地の伏流水のめぐみと歴史を体感できます。



黒薙川第2号下流砂防堰堤



宇奈月ダム



荒俣海岸

3. 留意点

- ・黒薙川へは30分程度のトレッキングとなりますので、歩きやすい服装、靴で参加をお願いします。
- ・トロッコ電車にはトイレはありません。
- ・荒天時やトロッコが運休時には、黒部川、荒俣海岸、宇奈月ダムなどの視察となります。